学校番号	203

令和３年度　芸術科

教科	書道	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（教育図書）						
副教材等	必要に応じ、独自教材を授業担当者が作成して配付						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「書道Ⅰ」で学習したことの確実な理解を図ると同時に、さらなる応用・発展をめざします。

１．継続して使用する書道用具・用材を更に工夫して使うことにより、より多様な書表現の実現を図ります。

２．書く言葉と書表現との関係をより積極的に考えるための学習方法と学習機会を提供します。

３．“感謝”の気持ちを表す自分自身の言葉を作り、これを自分自身の筆によって書の作品として制作する機会を設定し、実施する予定です。

４．書き言葉としての文字は正確に書くことが必要になるため、「書道Ⅰ」で学習した「平仮名」の字源漢字および筆順を完全習得すること、「片仮名」の筆順を完全習得することを行います。

2　学習の到達目標

書の幅広い活動を通じて、「書道Ⅰ」で学習したことへの理解を深めて主体的に書の活動に取り組み、書を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を身に付ける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の発想や構想の能力	c:書表現の知識・理解・技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や書文化に興味・関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や用途、美的観点などに基づいて方針を立てて表現の構想を練っている。	創造的な書表現をするために必要な知識を身に付け、これを理解して適切な表現技術や表現能力を選択して取り組んでいる。	書作品などの表現の工夫や書の文化などを理解し、そのよさや美しさを積極的に受け止めて適切に意見や感想などを伝えることができる。
評価方法	ワークシート 制作の状況（態度） 鑑賞活動やグループワークの状況 など	ワークシート 制作記録 学習期間中の作品 完成作品 振り返り作文 など	小テスト 学習期間中の作品 完成作品 など	ワークシート 制作記録 発言内容 感想用紙 など

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	ガイダンス・書道Ⅰの確認	授業を受けるに際して 確認小テスト ①平仮名筆順 ②平仮名字源漢字 ③カタカナ筆順 硬筆実用書式 ①はがき・封筒宛名書き ②手紙文書写	○	 ○ ○	 ○ ○ ○		a:板書、口頭説明を適切に記録することができるかを確認。 b:配付教材の書式に見合った書き方がされているか、書くべき内容に誤りがないか。 c:自己採点の得点を初回分として記録	ワークシート 小テスト 配付教材の提出 など
1学期	「漢字の書」の学習　草書の学習　十七帖を臨書する	1. 書体について 2. 草書とは 3. 単体と連綿 4. 十七帖について 5. 臨書とは 6. 法帖の見方・書き方 7. 実習 実習ア:籠字を取り文字の概形と点画の特徴を学ぶ 実習イ:細字で対象部分全体を臨書する(半紙) 実習ウ:大字で対象部分全体を臨書する(半紙) 実習エ:大字で連続する14 文字を選択して臨書する(半紙) 実習オ:選択した 14 文字を画仙紙半切に臨書する	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○	○ ○	a:草書体を含めた漢字の書体について理解を深めるとともに、草書体の特徴や学習する「十七帖」の内容および書きぶりの特徴について興味・関心を持つことができるかを確認。 b:「十七帖」の特徴を拡大してとらえることができるか、半切画仙紙 14 文字二行書きの形式で表現できるか。 c:特に、細字については、太細の変化と言葉の句切れを墨継ぎで適切に表現することができるか。 d:正しい筆順で書くことを前提に、字形や線質がよりよく表現できているか。	ワークシート 制作の状況 制作記録 学習期間中の作品 完成作品 振り返り作文 発言内容 感想用紙 など
1学期	**篆刻の学習**	**篆刻の学習１.** **①篆刻について** **②刻印する文字の検索確認** **③刻法の確認**	 **○** **○**	 **○**			**a：①篆刻について興味・関心を持ったか。** **②文字を調べる過程で字書等を活用できたか** **b：完成形を想像して選択することができたか**	**ワークシート** **配付教材の提出** **など**
	2学期に向けて	1. 第1回小テスト ①平仮名の筆順 ②平仮名の字源漢字 ③カタカナの筆順 2. 教材配付および説明 「感謝の気持ちを表す自身の言葉」	 ○ ○		 ○ ○ ○		a：板書、口頭説明を適切に記録することができるかを確認。 趣旨・条件を守ることを周知。 c：初回小テストで記録した得点を上回ることを目標とする。	ワークシート 小テスト 配付教材の提出 など

2学期	篆刻の学習	篆刻の学習２. ①印稿の作成・確認 ②印材への写し取り ③点検　刻印前の確認 配付教材の回収・点検		○	○ ○		b：完成状態を予想して印稿を作成できたか c：②印稿の正確な写し取り ③刻印ヶ所の把握	ワークシート 配付教材の提出 など
	漢字仮名交じりの書」の学習	1.「書道Ⅰ」で学習したことの振り返り 2.「書道Ⅱ」で学習することの意義の確認 3. よりよい表現のために ①用筆法の確認 直筆と側筆、円筆と方筆、太・細など ②運筆法の確認 速度（遅・速）、緩急（調子のとり方）など ③執筆法の確認 筆の持ち方・体の構え方など ④用墨法の確認 墨色（濃・淡）、濃度（粘り） すった墨と墨汁の違いなど ⑤布置・章法の確認 縦書きと横書きの違い 縦長用紙と横長用紙、正方形用紙、不定形 余白の生かし方（周囲の余白、行書きと散らし書き）、言葉と書道表現の関係など ⑥用紙の違い 和紙と西洋紙の違い 市販状態と加工した状態の違い大きさの違い（半紙・画仙紙など） 4. 作品選択と作品批評会	○ ○ ○

	篆刻の学習	篆刻の学習３. ①刻印 ②押印 ③補刀 ④再押印 ⑤完成	 ○ 	 ○ 	 ○ ○ 	 ○	a：完成度を高める意識の有無 b：完成度を上げる修整ヶ所の発見ができるか c：①印稿に従って刻印する努力ができるか ②適切に押印できるか d：完成して充実感を味わうことができるか	ワークシート 配付教材の提出 など
2学期	小テスト	第2回小テスト ①平仮名の筆順 ②平仮名の字源漢字 ③カタカナの筆順			 ○ ○ ○		c：１回めの小テストで記録した得点を上回ることを目標とする。	ワークシート 小テスト 配付教材の提出 など
3学期	仮名の書」の学習	1.「書道Ｉ」で学習したことの振り返り ①平仮名単体の練習 筆順を間違えないこと ②平仮名連綿の練習 筆順を間違えないこと ③和歌による作品形式の練習 筆順を間違えないこと 2.「奥の細道」冒頭部分を全て平仮名に置き換えて書写 ①書写形式の確認 すべて平仮名に置き換えて指定した形式で書く ②連綿と墨継ぎの確認 ③書き込み練習 ④料紙への清書 3. 各自が書いた作品の選び出し 4. 批評会	○

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。